

## 営業の概況

契約関係収入部門	13
商品、ソフトウェア、メディカルサービス、 マンションデベロッパー事業売上部門	13
損害保険契約収入部門	15
海外活動	16

### 契約先区分

1999年3月31日終了の1年間



● 商業施設	17.6%
● 工場	15.6%
● 銀行等金融機関	12.3%
● サービス業	19.3%
● 政府系機関	9.7%
● その他	25.5%

セントライズドシステムおよび  
ローカルシステム契約収入部門



売上高および収入合計に占める  
比率は

56.8%

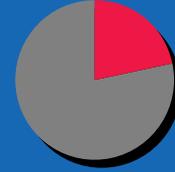
その他のセキュリティ契約収入部門



売上高および収入合計に占める  
比率は

10.8%

商品、ソフトウェア、  
メディカルサービス、  
マンションデベロッパー事業売上部門



売上高および収入合計に占める  
比率は

21.7%

## 契約関係収入部門

### セントライズドシステムおよびローカルシステム契約収入部門

当期の事業所向け、家庭向けのセントライズドシステムおよびローカルシステムからの収入は前期比4.6%増の2,239億円となり、売上高および収入合計に占める割合は前期の66.3%から56.8%となりました。

この契約収入部門の売上および利益の中心であるセントライズドシステムは、契約先に設置されたセンサーから送られてくる、火災・ガス漏れ・侵入・非常通報・設備異常などの情報を通信回線でセコムのコントロールセンターに集め、24時間監視するものです。異常情報が入ると、コントロールセンターの管制員はこの情報をもとに即座に状況を判断し、緊急対処員を契約先に急行させるとともに、必要に応じて110番・119番・ガス会社等に通報するというシステムになっています。

当社は当期、2つの革新的なセントライズドシステムを発売しました。ひとつは、セキュリティサービスのほか、ホームショッピングやホームバンキング、健康医療相談などの生活支援サービスを提供する「セコム・ホームセキュリティ・プラス」。もうひとつは、最先端の画像処理技術を組み込んだ画像センサーによって不正侵入を確実にキャッチする企業向けオンライン・セキュリティシステム「セコムAX」です。その仕組みは、画像センサーが異常を感知すると、その情報が「セコムAX」のコントローラーを通じて即座にセコムのコントロールセンターに送信されるというものです。侵入異常の場合は、感知時とその前後の静止画像計10枚を送信します。非常通報の場合は、非常ボタンを押した時の画像とその前の静止画像計10枚、さらに、現時点の画像を送り続けます。受信された画像は画像コントロールデスクに表示され、管制員は画像センサーに内蔵されたマイクで異常音を確認したり、スピーカーで不正侵入者への警告を行うことができます。

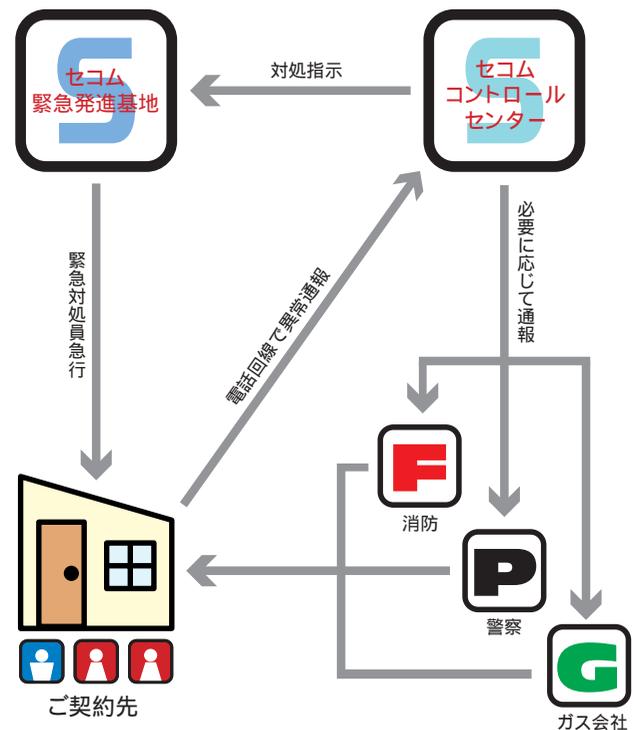
### その他のセキュリティ契約収入部門

その他のセキュリティ契約収入部門には、常駐警備契約、現金護送契約が含まれます。この部門の売上高は前期比5.1%増の425億円、売上高および収入合計に占める比率は前期の12.5%から10.8%となりました。

## 商品、ソフトウェア、メディカルサービス、マンションデベロッパー事業、売上部門

当期の商品(安全機器)、ソフトウェア・情報通信関連サービス、メディカルサービス、マンションデベロッパー事業の売上高は、前期比37.6%増の856億円となり、売上高および収入合計に占める割合は前期の19.3%

### セントライズドシステム



から21.7%となりました。

### 商品（安全機器）

当社では出入管理システム、自動消火システム、屋外・屋内用監視システムなどの安全機器を提供しています。これらは、機器それ自体で安全機能を持っていますが、セントラライズドシステムと結線して使用することもできます。

当期、新たに発売した安全機器やサービスは以下の通りです。

指紋を利用した出入管理システム「セサモIDs」。指紋照合システムは、鍵やカード、暗証番号のように複製、紛失、漏洩の心配がないため、発売以来、重要な施設に導入されてきましたが、今回発売の新型はより使い勝手が良く、経済面では従来機種に比べ大幅にコストダウンを実現した設計となったため、数多くの一般事務所や店舗などでも使用されています。また、デザインを一新してよりコンパクトにし、屋外設置を可能にしました。

一般向け消火器「トマホークマッハ」および家庭向け消火器「トマホークマッハ」。トマホークマッハシリーズは、「ホースが伸びるので機器本体を持ち運ぶ必要がなく、広範囲の消火が可能」「操作はノズルを火元に向けてボタンを押すだけだから簡単」と大好評を博しています。当期に発売した新型トマホークマッハでは、そうした優れた機能や消火能力はそのままに、小型・軽量化と低価格を実現しました。

### ソフトウェア・情報通信関連サービス

情報系事業では、通信ネットワークの企画・構築・運用などを含む幅広い情報通信サービスを提供しています。当期は、米国エントラスト・テクノロジー社および日本企業15社と合併で、エントラスト社が開発した企業向け電子認証システムを日本国内で独占的に販売するエントラストジャパン㈱を設立しました。また、ウイルス対策ソフト大手のトレンドマイクロ㈱と、企業や公共機関向けのサイバーセキュリティ事業で提携しました。

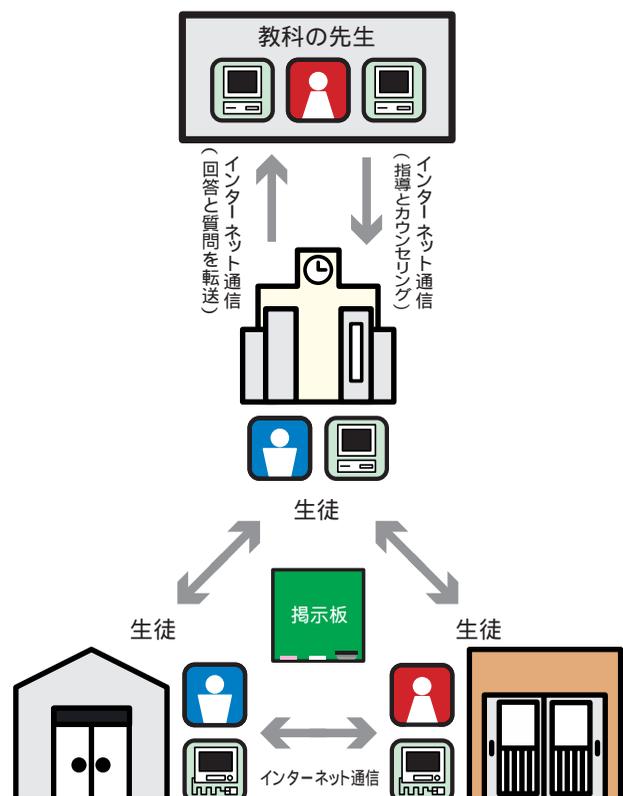
教育事業では、セコムライズ㈱が、インターネットを利用したオンライン在宅学習サービス「ライズ先生『電塾』」を引き続き販売するとともに、子供に見せたくない有害情報の排除など、学校でインターネットを活用する際の課題に対応した教育用ソフト「学校用インターネットシリーズ」を発売しました。

### メディカルサービス

セコム在宅医療システム㈱は、自宅療養をサポートする訪問看護サービスや薬剤・栄養剤の調剤・宅配サービスを行っています。

当期は、さらに患者と主治医をオンラインで結び自宅での療養生活をサポートするオンライン在宅医療支援システム「メディデータ」の販売を開始しました。また、セコムグループ初の福祉機器である電動式人工咽頭「マイボイス」を新たに発売しました。これらのサービスについては、

### オンライン在宅学習サービス



24時間365日対応のセコムナースセンターが問い合わせ窓口となっているので安心です。

また、セコム漢方システム㈱は、従来の漢方生薬の販売に加え、健康食品の通信販売を始めました。商品については、漢方に根ざした自然の素材から作られた健康食品の中でも大学病院の医師が推奨したものを中心に取り扱っています。

このほか、遠隔画像診断サービスの「ホスピネット」があります。これは、医療機関のMRIやCTとホスピネットセンターをISDNで結び、送られてきた画像を専門の読影医が読み取って報告書を送り返すシステムです。

### マンションデベロッパー事業

㈱エクレールはマンションの開発・販売を行っております。同社の住宅事業のノウハウとセコムの家庭向けセキュリティサービスとの相乗効果で

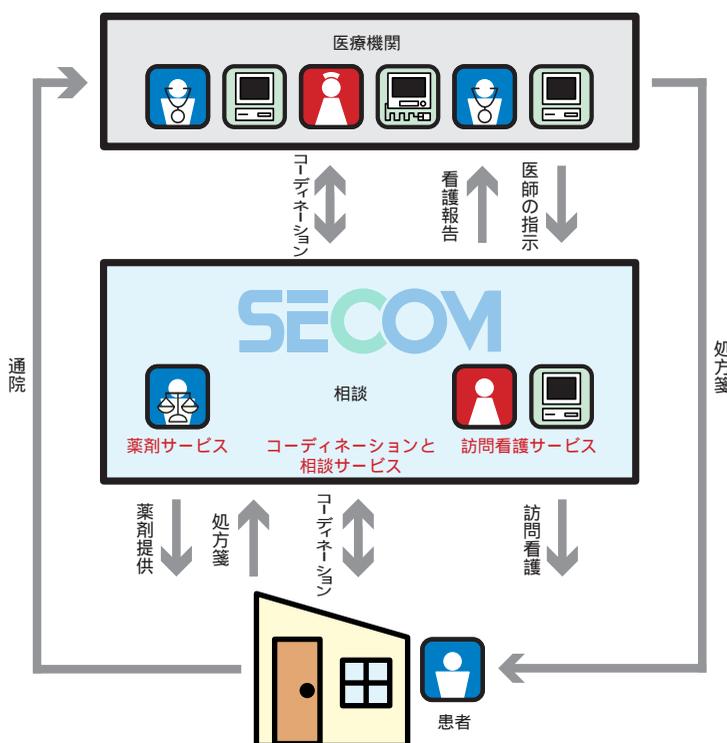
より安全・安心を重視した快適な住環境の創造をめざしております。

## 損害保険契約収入部門

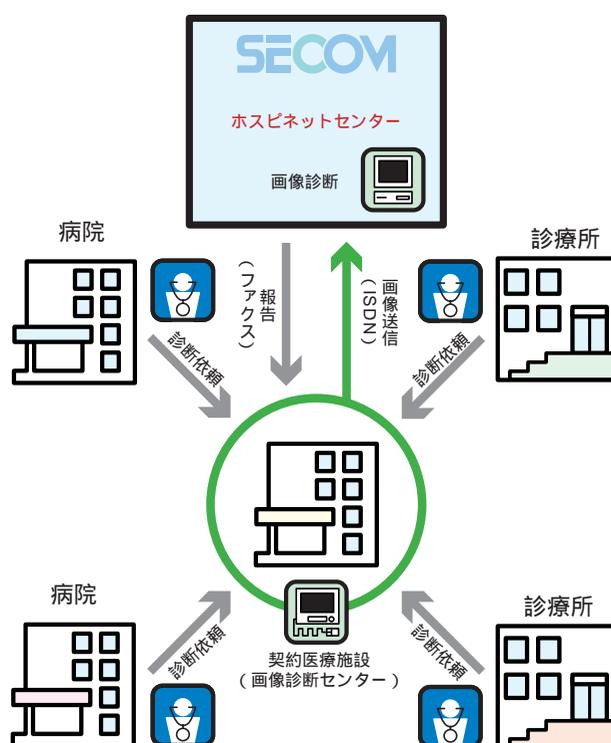
セコム東洋損害保険㈱として新しいスタートを切った当部門ではオリジナリティの高い商品を低価格でお届けしています。

主要商品としては「コスト還元型自動車保険」があります。これは、セコムグループが保有するインフラを活用することにより、お客様にとってメリットがある画期的な補償内容を実現したものです。「コスト還元型自動車保険」では、年齢・等級を問わず、同じ補償内容で平均20%保険料の軽減が可能なおほか、事故の際にセコムの緊急対応員による現場急行サービスも付き、それぞれのお客様により大きな安心をお届けできるようになっています。

### 在宅医療サービス



### ホスピネットサービス



当部門では、引き続き、従来の損害保険業界の常識では考えられなかった商品の開発に注力していく方針です。

## 海外活動

セコムの海外セキュリティネットワークは、米国、韓国、台湾、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、中国、イギリス、オーストラリアの10カ国に及び、事業展開の特徴は、セキュリティサービスをその国や地域の情報に適応する形で行っていることです。

セコム方式のセキュリティサービスは、各国で高い評価を受けていますが、その顕著な例が、台湾と韓国における株式市場での上場として結実しました。

なお、当期は米国でのセキュリティ事業を担っているウェステック・セキュリティ・グループが家庭向けセキュリティ部門を売却しました。今後、同グループは遠隔画像監視システムを含む企業向けオンライン・セキュリティシステムの拡大に力を注ぐことになります。

これからも当社は、セコム方式のセキュリティシステムを必要とする国々に積極的に進出していく予定です。

